



安全データシート

Brilliant Green Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2025/10/03 改訂日: 2025/11/28 バージョン: 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Brilliant Green Agar
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : NCM0283
Part Number(s) : NCM0283|400000893|700003660|700003661|700003662

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい 3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号

: 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|-----------|---------------|----------|
| 物理化学的危険性 | 爆発物 | 分類できない |
| | 可燃性ガス | 区分に該当しない |
| | エアゾール | 分類できない |
| | 酸化性ガス | 区分に該当しない |
| | 高压ガス | 区分に該当しない |
| | 引火性液体 | 区分に該当しない |
| | 可燃性固体 | 分類できない |
| | 自己反応性化学品 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 区分に該当しない |
| | 自然発火性固体 | 分類できない |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類できない |
| | 酸化性液体 | 区分に該当しない |
| | 酸化性固体 | 分類できない |
| | 有機過酸化物 | 分類できない |
| | 金属腐食性化学品 | 分類できない |
| | 鈍性化爆発物 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性 (経口) | 分類できない |
| | 急性毒性 (経皮) | 分類できない |
| | 急性毒性 (吸入: 気体) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (吸入: 蒸気) | 区分に該当しない |

安全データシート

Brilliant Green Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

| | |
|---------------------------|----------|
| 急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト) | 分類できない |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 分類できない |
| 誤えん有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 水生環境有害性 短期 (急性) | 区分に該当しない |
| 水生環境有害性 長期 (慢性) | 区分に該当しない |
| オゾン層への有害性 | 分類できない |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

| 名前 | 濃度 (%) | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|------------|---------------|----------|--------|----------|
| | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| Phenol red | ≥ 0.1 - < 0.5 | (4)-271 | 既存化学物質 | 143-74-8 |

4. 応急措置

応急措置

| | |
|-------------|--|
| 応急措置 一般 | : 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。 |
| 吸入した場合 | : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 皮膚は多量の水で洗浄する。 |
| 眼に入った場合 | : 予防措置として眼を水ですすぐ。 |
| 飲み込んだ場合 | : 気分が悪いときは医師に連絡すること。 |
| 応急措置をする者の保護 | : First-aiders should pay attention to their own protection and use the recommended personal protective equipment (see section 8)。 |

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

| | |
|-----------------|--|
| 症状/損傷 吸入した場合 | : 通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。 |
| 症状/損傷 皮膚に付着した場合 | : 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。 |
| 症状/損傷 眼に入った場合 | : 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。 |
| 症状/損傷 飲み込んだ場合 | : 通常の条件下では特に無し。 |

安全データシート

Brilliant Green Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置 : 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆い
ます。
浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
接触回避 : データなし

安全データシート

Brilliant Green Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

| | |
|-----------|---|
| 衛生対策 | : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 |
| 安全な容器包装材料 | : データなし |
| 技術的対策 | : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。 |
| 容器包装材料 | : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。 |
| 保管温度 | : 2 – 30 °C |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|---------------|----------------------------|
| 設備対策 | : 作業所の十分な換気を確保する。 |
| 保護具 | |
| 個人用保護具 | : 推奨される個人用保護具を着用する。 |
| 呼吸用保護具 | : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。 |
| 手の保護具 | : 保護用手袋 |
| 眼の保護具 | : 安全メガネ |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 適切な保護衣を着用する。 |
| 環境へのばく露の制限と監視 | : 環境への放出を避けること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------------|---------------------|
| 物理状態 | : 固体 |
| 外観 | : 粉末 |
| 色 | : Beige |
| 臭い | : 特異臭 |
| pH | : 6.7 – 7.1 |
| 融点 | : データなし |
| 凝固点 | : データなし |
| 沸点 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 自然発火点 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 相対密度 | : データなし |
| 密度 | : データなし |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 溶解度 | : Soluble in water。 |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | : データなし |
| 爆発限界 (vol %) | : データなし |
| 動粘性率 | : データなし |
| 粒子特性 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|--------|---------------------------------|
| 反応性 | : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。 |
| 化学的安定性 | : 通常の下では安定。 |

安全データシート

Brilliant Green Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 危険有害反応可能性 | : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。 |
| 避けるべき条件 | : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。 |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。 |

11. 有害性情報

| | |
|-----------|--|
| 急性毒性 (経口) | : 分類できない |
| 急性毒性 (経皮) | : 分類できない |
| 急性毒性 (吸入) | : 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト) |

| Brilliant Green Agar | |
|----------------------|--|
| 未知の急性毒性 (GHS JP) | 混合物の 63.24%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の 99.8%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の 99.8%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている |

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない

| Brilliant Green Agar | |
|----------------------|-----------|
| pH | 6.7 – 7.1 |

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない

| Brilliant Green Agar | |
|----------------------|-----------|
| pH | 6.7 – 7.1 |

| | |
|-----------------|----------|
| 呼吸器感受性 | : 分類できない |
| 皮膚感受性 | : 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない |
| 発がん性 | : 分類できない |
| 生殖毒性 | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 分類できない |
| 誤えん有害性 | : 分類できない |

12. 環境影響情報

生態毒性

| | |
|-----------------|--|
| 生態系 - 全般 | : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。 |
| 水生環境有害性 短期 (急性) | : 区分に該当しない |
| 水生環境有害性 長期 (慢性) | : 区分に該当しない |

| Phenol red (143-74-8) | |
|-----------------------|---|
| LC50 - 魚 [1] | 12.25 mg/l Source: ECOSAR |
| EC50 96h - 藻類 [1] | 1.262 mg/l Source: ECOSAR |
| BCF - 魚 [1] | 45.67 l/kg (BCFBAF v3.01, Calculated value, Fresh weight) |

安全データシート

Brilliant Green Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

| Phenol red (143-74-8) | |
|--------------------------|--|
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | 3.02 (Experimental value) |
| 有機炭素吸着係数 (Log Koc) | 5.329 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value) |

残留性・分解性

| Brilliant Green Agar | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 残留性・分解性 | 急速分解性でない |
| Phenol red (143-74-8) | |
| 残留性・分解性 | Not readily biodegradable in water。 |

生体蓄積性

| Brilliant Green Agar | |
|--------------------------|---|
| 生体蓄積性 | データなし |
| Phenol red (143-74-8) | |
| 生体蓄積性 | Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4)。 |
| BCF - 魚 [1] | 45.67 l/kg (BCFBAF v3.01, Calculated value, Fresh weight) |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | 3.02 (Experimental value) |
| 有機炭素吸着係数 (Log Koc) | 5.329 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value) |

土壌中の移動性

| Brilliant Green Agar | |
|--------------------------|--|
| 土壌中の移動性 | データなし |
| Phenol red (143-74-8) | |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | 3.02 (Experimental value) |
| 有機炭素吸着係数 (Log Koc) | 5.329 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value) |
| 生態系 - 土壌 | Adsorbs into the soil。 |

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

- 推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
- 地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 追加情報 : 空の容器を再利用しない。

安全データシート

Brilliant Green Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

| 国連勧告 (UN RTDG) | |
|--------------------|----------|
| 国連番号 | |
| 輸送規則の定義上危険物に該当しない。 | |
| 国連正式品名 | |
| | 規制されていない |
| 輸送危険物分類 | |
| | 規制されていない |
| 容器等級 | |
| | 規制されていない |
| 環境有害性 | |
| | 規制されていない |

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。